

木下新委員長選出！ 組織強化・拡大を勝ち取るぞ！ 第33回定期大会開催

J R 東海労は6月10日、名古屋市内で第33回定期大会を開催しました。大会には、総勢110名が参加しました。冒頭、大会前日に「のぞみ265号」殺傷事件で犠牲になられた乗客のご冥福をお祈りし、全員で黙祷を捧げました。

小林委員長は挨拶で「組織拡大を実現する闘いを強化しよう。J R 総連の強化に向けて、J R 東海組と連携し、職場からJ R 労働運動を再構築しよう」と訴えました。来賓として、J R 総連柳書記長、楠関ヶ原町議会議員、O B 会福島会長より、それぞれ挨拶を受けました。

質疑では、17名の代議員から、

新幹線車内業務見直しに抗する闘い、年休裁判などの裁判闘争、更衣時間を労働時間にする闘い、「のぞみ34号」をはじめとする安全確立の闘い、タブレット（CAST）に対する闘いなど、実践的な闘いの発言が相次ぎました。



大会にご列席頂いたご来賓の皆さま

新三役に、木下委員長、山本副委員長、加藤副委員長、本橋書記長を選出しました。最後に、木下新委員長の団結ガンバローで大会は成功裡に終了しました。